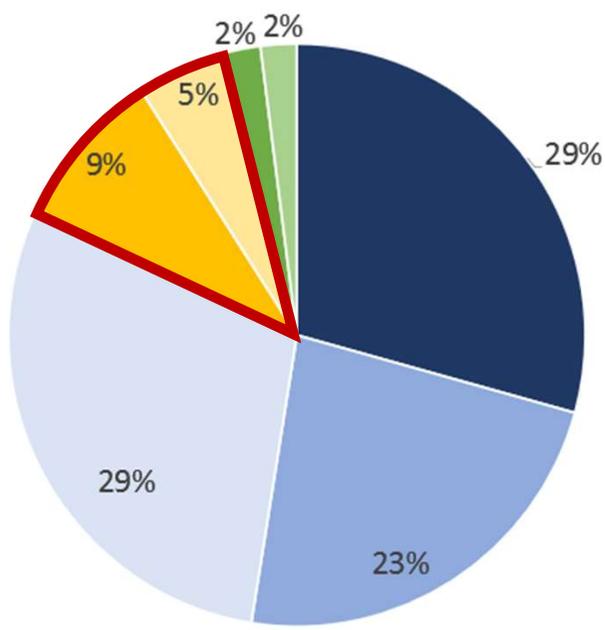


VUCA時代のPMのための  
コンセプチュアル・スキル

アジャイルPM向け

日本ではまだまだ少数派のアジャイルプロジェクト (n=341)

アンケート 1 「主要なプロジェクトマネジメント・アプローチ」

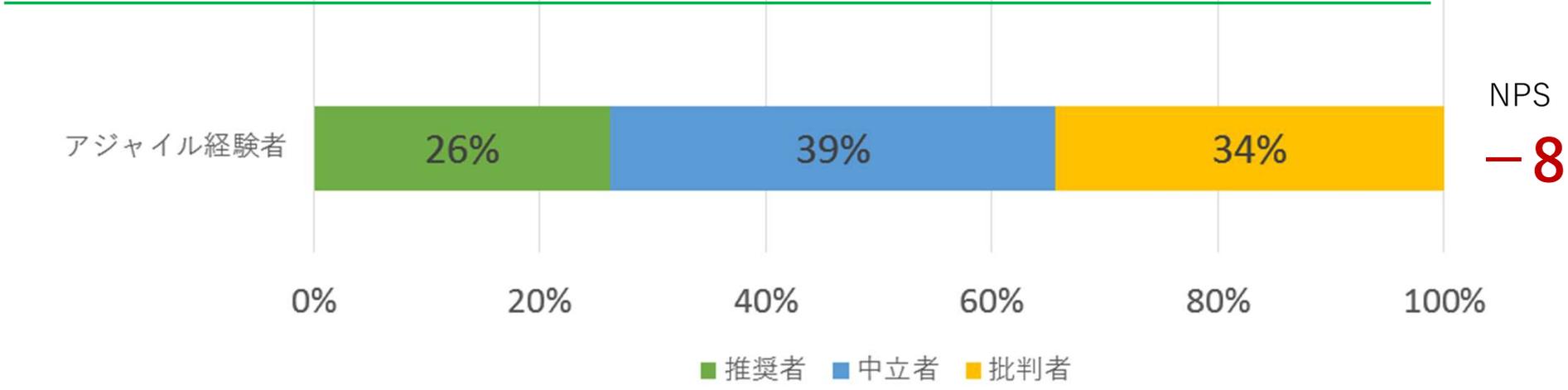


- ウォーターフォール型で、厳密なゲート管理を行っている
- ウォーターフォールに近いが、ある程度の手戻りを受け入れる余裕を見込んでいる
- ウォーターフォールに近いが、状況に応じて柔軟に変更することを前提にしている
- スクラムなど、特定のアジャイル・アプローチを適用している
- 特定のアジャイル手法を前提とせず、自分の組織の手法を開発している
- わからない
- その他

「2021年度 アジャイルプロジェクトマネジメント意識調査報告」(PMI 日本支部)より

## アジャイルプロジェクト経験者にお勧めされないアジャイル (n=125)

アンケート 2 「アジャイルを親しい友人や同僚に勧める可能性はどのくらいありますか？」



「2021年度 アジャイルプロジェクトマネジメント意識調査報告」(PMI 日本支部)より

### NPS (Net Promoter Score)

アンケート手法の一つで「〇〇を親しい友人や同僚に勧める可能性はどれくらいありますか？」を10段階で尋ね、推奨者(評価9~10)から、批判者(0~6)を引いたスコア

## アジャイル経験者からいただく相談内容

- 1位 発注者と受注者の意識、関係性が変わっていない
- 2位 自社の経営層や管理責任者、営業部門がアジャイルについて十分に理解しておらず、現場が必要とする仕組みや支援がない
- 3位 プロダクトオーナーvs.開発チームの構図に陥ってしまっている

これらの問題は、

「メソッドロジー（例：Scrum、ScrumBan、Kanban、Lean Startup、XP、…）」

「フレームワーク（例：SAFe®、SoS、DAD、LeSS、Enterprise Scrum、…）」

「手法（例：レトロスペクティブ、ペアプログラミング、デイリースタンドアップ、…）」

では解決できないかもしれません。

アジャイルプロジェクトを進めるリーダーにはこれらの他に何が必要でしょうか？

## アジャイルプロジェクトを進めるリーダーを助けてくれるもの

- 1位 **発注者**と受注者の意識、関係性が変わっていない
- 2位 自社の**経営層**や**管理責任者**、営業部門がアジャイルについて十分に理解しておらず、現場が必要とする仕組みや支援がない
- 3位 プロダクトオーナーvs.開発チームの構図に陥ってしまっている

これらの問題を解決するために、

「メソッドロジー（例：Scrum、ScrumBan、Kanban、Lean Startup、XP、…）」

「フレームワーク（例：SAFe®、SoS、DAD、LeSS、Enterprise Scrum、…）」

「手法（例：レトロスペクティブ、ペアプログラミング、デイリースタンドアップ、…）」

に加えて、**従来は経営者に必要とされていたコンセプチュアル・スキル**が、アジャイルプロジェクトを進めるリーダーを助けてくれる